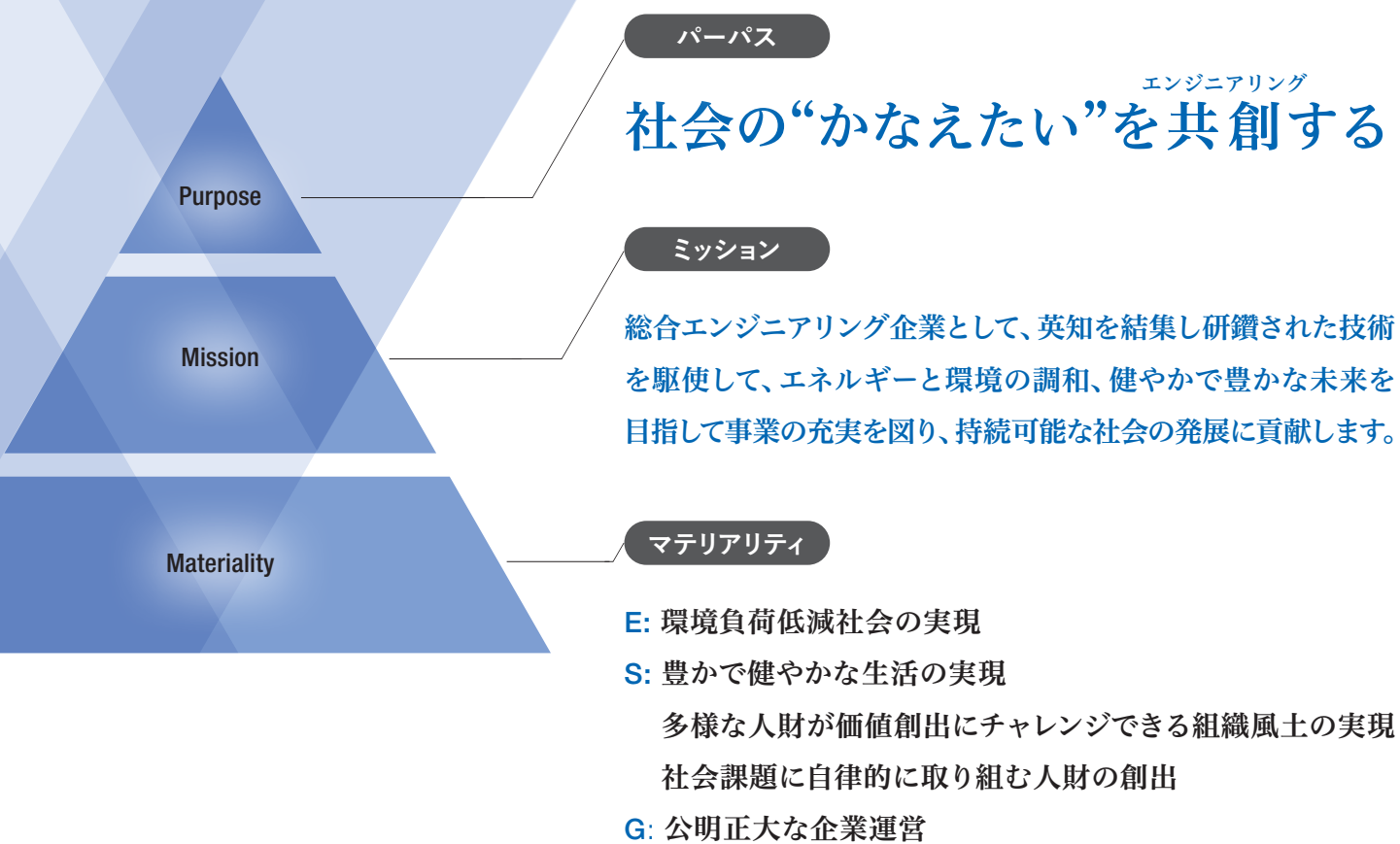


社会の
“かなえたい”を
エンジニアリング
共創する

企業理念体系



創業の理念「技術による社会への奉仕」

当社グループは、高度な技術力を用いて社会的課題を解決するエンジニアリング会社の草分けとして1948年に創設されました。創業時から「技術による社会への奉仕」を掲げ、社会課題に対して技術をもって応えることを企業の存在意義としてきました。その精神は、戦後の重化学工業化への貢献、カタルととの長期協業、そして近年の水素サプライチェーン構築への挑戦にも通底しています。創業から受け継がれるこの理念は、今もなお、当社の原点として、パーパスや事業活動の根幹に息づいています。

“それは日本のためになるか？国益になるか？” “千代田化工社員としての自覚とプライドを持って”

創業者 玉置 明善

当社の創業者である玉置明善は、日本に「プラント・エンジニアリング産業」を築き、化学工業技術開発に力を注ぐとともに、その技術と手法を公開し、業界の育成に努めました。

また、創業初期から「自然環境と産業との調和」の必要性を訴え、時代ごとに、産業や社会の基盤を支える存在として、「エネルギーと環境の調和」の取り組みの必要性を提唱しました。



CONTENTS

2 企業理念体系／創業の理念

4 CEOメッセージ

10 CFOメッセージ

社会の“かなえたい”に应运きた千代田

経営計画2025 変革のロードマップと目指す姿

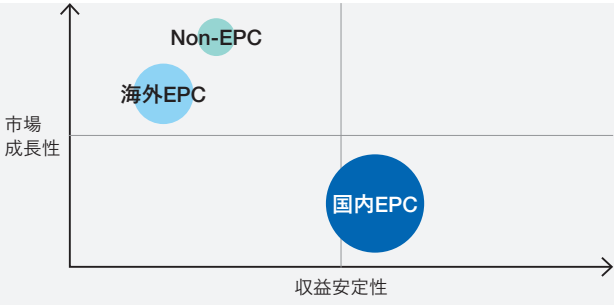
再生計画を経て、当社は今、中長期的な視点から次なる成長への歩みを進めようとしています。まずは「経営計画2025」(以下、本中計)における3年間で、収益構造の安定化と事業ポートフォリオの多様化に取り組み、成長に向けた基盤を固めます。続く次期経営計画以降のフェーズでは、事業共創のスタイルを確立し、本格的な成長軌道への回帰を図ります。そして10年後には、連結純利益300億円の達成を見据え、持続的に価値を創出し続ける企業への進化を遂げていきます。

2019 – 2024 再生計画

連結純利益：平均 **56** 億円

大型プロジェクトへの集中

- 収益ボラティリティ大(4年黒字／2年赤字)
- リスクマネジメント力向上



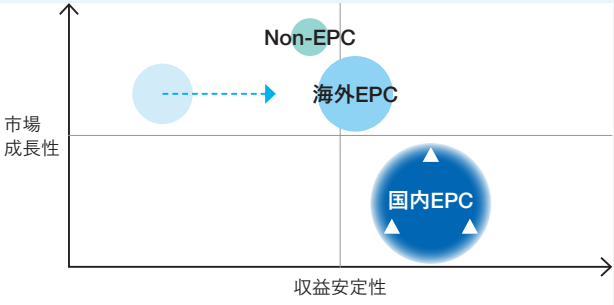
●●●の大きさ：純利益(期間平均)イメージ

2025 – 2027 経営計画2025

平均 **150** 億円
 (うち、Non-EPCの割合5%)

自己変革 収益安定化／多様化へ

- 海外プロジェクトの取り組み改革
- 国内プロジェクトの収益基盤拡充
- Non-EPCの創出継続



2028 – 2034



千代田化工建設株式会社

横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号

みなとみらいグランドセントラルタワー

<https://www.chiyodacorp.com/jp/>

